

岩手県防災会議  
地震・津波被害想定調査検討部会

# 地震発生からの 災害シナリオ案について

令和3年11月11日

**応用地質株式会社**

## ★地震災害シナリオ作成の目的と対象地震

### ・目的

- ・ 大規模地震発生時の災害応急対策の内容や量的な備えを検討するためにシナリオを作成。
- ・ 対象とする想定地震・津波について、被害と発生後の時間経過に即した災害対応の推移を記載。
- ・ 想定地震・津波ごとに被災状況、被災地が異なるため、県内各地域の被災状況をそれぞれ示す。
- ・ 被害状況や発生直後の事態推移は、地震・津波の発生時刻や季節により異なる。
- ・ それぞれのシナリオにおける自らの状況を認識し、今後、適切な地震・津波防災対策に結びつける活用を想定。

### ・対象地震とハザード

- ・ 今回被害想定を行う日本海溝・千島海溝周辺領域で発生する地震を対象とし、地震及び津波をハザードの対象とする。

## ★シナリオの作成方法(1)

### ・シナリオの種類

・記載する内容は、自然現象（地震動・津波）とそれに起因する被害状況の概略を記載した上で、応急対策活動の内容および対象に基づき3つに区分して整理。

①活動体制・情報：災害対策本部を中心とする防災関係機関の体制

②避難・救援・医療・住宅：被災者を直接の対象とする活動

③交通・輸送・ライフライン：対策実施や生活復旧を支える社会基盤に係る活動

### ・シナリオに記載する被害像

・シナリオには、被害想定結果に基づく定量的な被害量及び、定性的な「被害の様相」に基づく被害像を記載。

## ★シナリオの作成方法(2)

### ・シナリオの期間

・応急対策が落ち着くと想定される数か月後までを作成し、期間は概ね下記の4期間に区分。

発災期：地震・津波発生直後

災害拡大期：地震・津波発生後1日間程度

災害鎮静期：1日後～1週間後程度

復旧期：1週間後～数か月程度

### ・地区区分等

・**対策活動シナリオ**については、被災地域の広がりも考慮し、**国、県、市町村等（大被害地域、その他地域）に分けて記載**する。

・記載する地区区分は、広域振興局管轄地域に従って区分し、右図のとおりである。



「いわて県民計画長期ビジョン」より



## ★シナリオ作成例

### 「②避難・救援・医療・住宅」の作成例（対策項目部分）

地震災害シナリオ【〇〇地震】②避難・救援・医療・住宅										
地震等	発災期	災害拡大期			12時間後～	災害鎮静期		復旧期		
	地震発生直後(冬夕18時)	10分後～	1時間後～	3時間後～		1日後～	3日後～	1週間後～	2週間後～	～数か月程度
地震等	<①と同じ記述>									
想定される被害状況および被災者行動	<①と同じ記述>									
主な対策項目 (色塗りの対策項目について記述)	活動体制の確立 情報収集									
	消防	救助、救急医療 広報 避難誘導	避難所運営		食糧供給、給水、生活必需品物資供給 交通確保(道路閉鎖等) 輸送	ライフライン復旧 防疫・衛生 ボランティア受け入れ		住宅 被害 避難所運営		

↓以下に①と同様に国、県、地域別の対策活動を記載

### 「③交通・輸送・ライフライン」の作成例（対策項目部分）

地震災害シナリオ【〇〇地震】③交通・輸送・ライフライン										
地震等	発災期	災害拡大期			12時間後～	災害鎮静期		復旧期		
	地震発生直後(冬夕18時)	10分後～	1時間後～	3時間後～		1日後～	3日後～	1週間後～	2週間後～	～数か月程度
地震等	<①と同じ記述>									
想定される被害状況および被災者行動	<①と同じ記述>									
主な対策項目 (色塗りの対策項目について記述)	活動体制の確立 情報収集									
	消防	救助、救急医療 広報 避難誘導	避難所運営		食糧供給、給水、生活必需品物資供給 交通確保(道路閉鎖等) 輸送	ライフライン復旧 防疫・衛生 ボランティア受け入れ		住宅 被害 避難所運営		

↓以下に①と同様に国、県、地域別の対策活動を記載